

■ 多摩川ふれあい点検－多摩川水系河川整備計画を現地でフォローアップします

第3回 永田地区・羽村編

「多摩川水系河川整備計画」が、平成13年3月にできあがってから早5年が経ちました。整備計画は、多摩川を愛するたくさんの市民と行政と川の専門家がみんなで川を歩き、意見を交わして作った計画です。

平成15年度には河川整備計画のフォローアップが始まり、平成17年度からは河川整備計画フォローアップの一環として、市民と行政がともに河川整備計画での整備箇所を歩き点検する「ふれあい点検」を実施しています。平成17年度には2回の「ふれあい点検」を実施しました。

第3回目は、永田橋から羽村取水堰付近を点検します。多摩川の自然再生の取り組みについて、意見交換しませんか。



日時

2006年10月14日(土) 13:00～17:00 雨天中止

行程

JR青梅線 福生駅(西口)集合→永田橋→礫河原再生箇所→カワラノギク育成地→礫供給箇所
→羽村第3床止→羽村取水堰→羽村市郷土博物館(意見交換会場)へ

お申込み先 (申込書をご利用下さい)

- 建設技術研究所環境部
ふれあい点検受付担当
TEL:048-835-3738 E-mail: fureai@tokyo.ctie.co.jp

お問合せ先

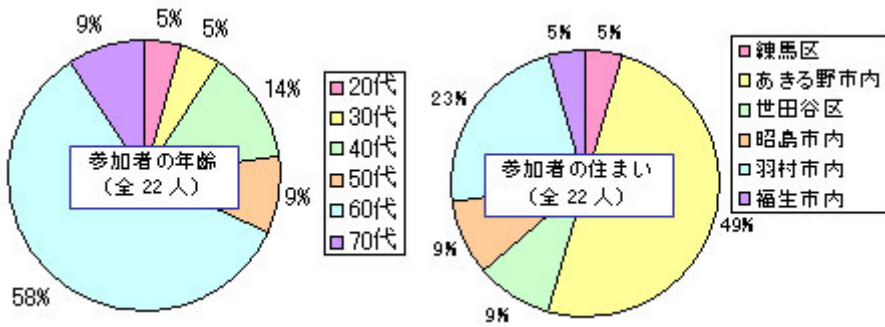
- 国土交通省京浜河川事務所
調査課
TEL:045-503-4008 <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin>



集合後バスで移動します

第3回 永田地区・羽村編－開催報告

- 日時 : 2006年10月14日(日) 13:00～17:00(晴れ・最高気温18.9℃)
- 点検地点 : 永田地区・自然再生実験箇所、土砂供給箇所・羽村第3床止め、羽村取水堰
- 意見交換会 : 羽村市郷土博物館にて
- 参加人数 : 22人



カワラノギクが咲きほこる中、永田地区の自然再生の取り組みについて点検しました。



東京都の羽村取水堰の管理所の方にも協力いただき、伝統工法について説明していただきました。



羽村取水堰の魚道のそばで、多摩川の魚がのぼりやすい川づくりについて説明を受けました。

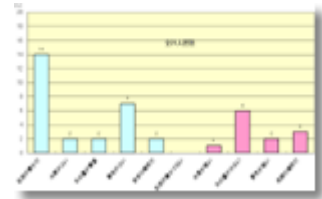


羽村市郷土博物館にて、意見交換会を開催し、活発なご意見を多数いただきました。

第3回 永田地区・羽村編 一点検の結果(各グラフはレポート巻末に添付しています)

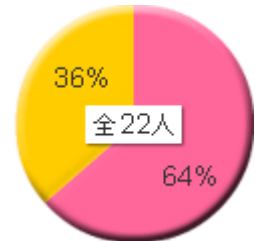
「永田地区」を点検した感想

全体では「自然が豊か」「景観がよい」という感想を持つ方が多く、悪い印象の中では「水の量が少ない」という感想が目立ちました。また現在永田地区は、生態系保持空間のため人の利用を制限していますが、4割近い方が「利用したい」と思っていることがわかりました。



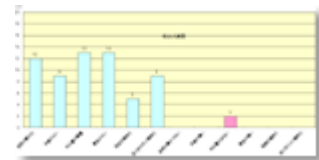
またこの地区は、生態系保持空間のため人の利用を制限していますが、4割近い方が「利用したい」と思っていることがわかりました。

- 自然を守るために今まで通り人の利用はしない方がよい
- もっと利用したい



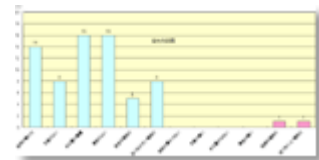
「羽村取水堰下流部」を点検した感想

よい印象を持つ方が圧倒的に多かったです。羽村取水堰上流部と比べて「水の量が少ない」と感じる方が多い結果となりました。



「羽村取水堰上流部」を点検した感想

この地点の結果は、「水の量や景色、豊かな自然が良い」という感想が多かったです。一方で、「危険な場所、近づきにくい場所」という感想もありました。



「永田地区」の評価

● 主な意見

- ・ 自然再生事業は、他の箇所でも取り組んでほしいです。
- ・ カワラノギク復元のために、人間の手間をかけすぎています。
- ・ 外来種の駆除は、ボランティアを募ってはどうか。



◎ 点検からいえること

- ・ 理解度も評価もいずれも平均点が4点以上であり、自然再生事業については概ね理解・評価されています。
- ・ 外来種駆除の拡大など、いただいた要望、提案をふまえ、今後の方向を検討していきたいです。

「土砂供給箇所・魚道・羽村取水堰周辺」の評価

●主な意見

- ・土砂供給の目的は理解できましたが、効果がよくわからなかったです。
- ・土砂供給を人工的に行わなくても自然に供給できる方法はないのでしょうか。
- ・魚道がこんなに整備されているとは知りませんでした。
- ・魚道は人工的なので、自然に魚がのぼれる工夫がほしいです。



◎点検からいえること

- ・土砂供給、魚道とも、平均点が4点以上で概ね理解・評価されています

第3回 永田地区・羽村編－意見交換会でいただいた主なご意見

<永田地区の自然再生について>

- ・自然再生事業は、他の箇所でも取り組んでほしいです。
- ・林を、カワラノギクの再生場所のように、全域を刈り取ってほしいです。
- ・遊歩道等を整備し、多摩川の自然が楽しめるようにしてほしいです。
- ・外来種の対策をもっとやってほしい。以前のように、すっきりした礫河原にもどしたいです。



<土砂供給について>

- ・よく理解できました。いいことなので、他でもやってはどうでしょうか。
- ・多量の土砂を置っていますが、実際にどれだけ効果があるのか疑問です。深掘れしているところに溜まる量よりも、下流側のもっと危険な箇所（昭和用水堰上流や日野用水堰上流の土砂が溜まりすぎている箇所）に溜まる量の方が多いのではないのでしょうか。

→（回答）

置いている土砂は、羽村取水堰より上流に溜まったもので、もともと多摩川にあって、本来なら下流に流れるべきものです。よっ



て、土砂を置くことで危険が増すわけではありません。土砂移動の正常化を考えて実施しているものです。

また、昭和用水堰や日野用水堰は、現在は固定堰ですが、今後の土砂移動の正常化を考えて可動堰に改築することも考えていきます。



<魚道について>

- ・ 魚道がこんなに整備されていることは知りませんでした。
- ・ 羽村取水堰の魚道は、水量が多くて魚がのぼれるような状態ではなかったです。もっと広い魚道にすれば、水量が多い時にも魚がのぼれるのではないのでしょうか。



→ (回答)

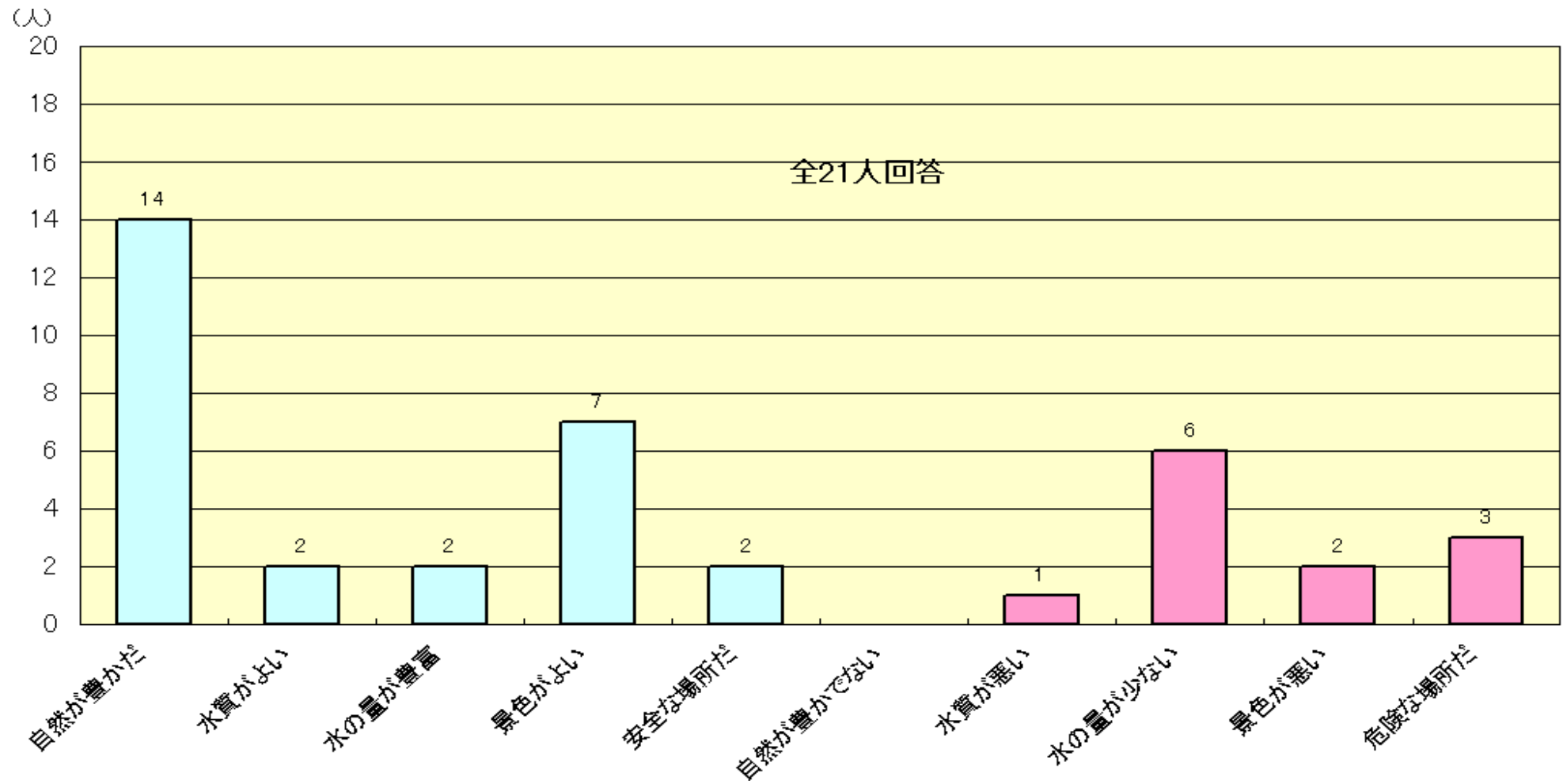
今日は随分水量が多かったです。普段の10倍くらいありました。

普段は魚道内に0.25m³/sくらい流れています。

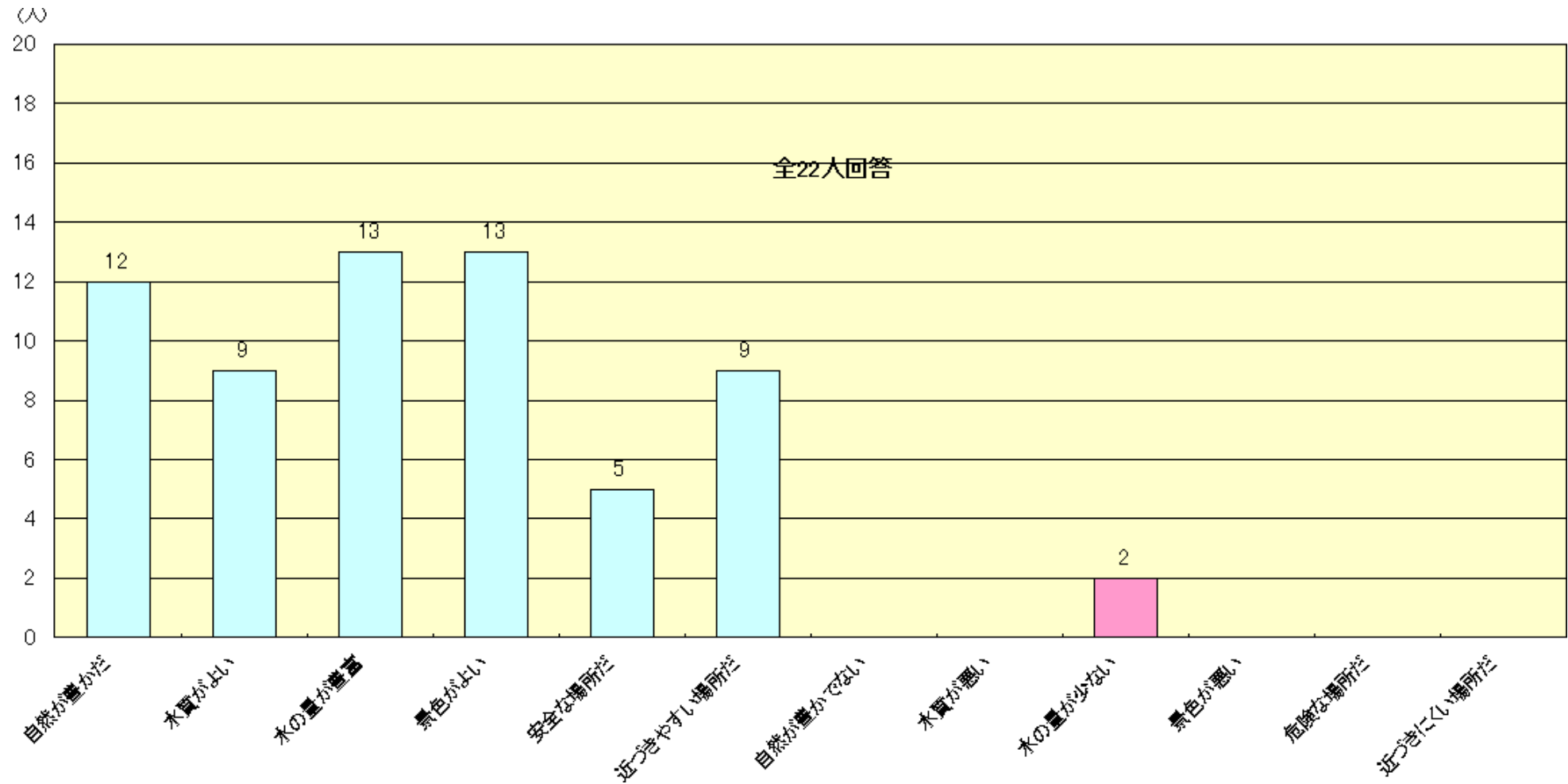
水が多い時は魚も動かないので、支障はないと考えます。普段はのぼっています。



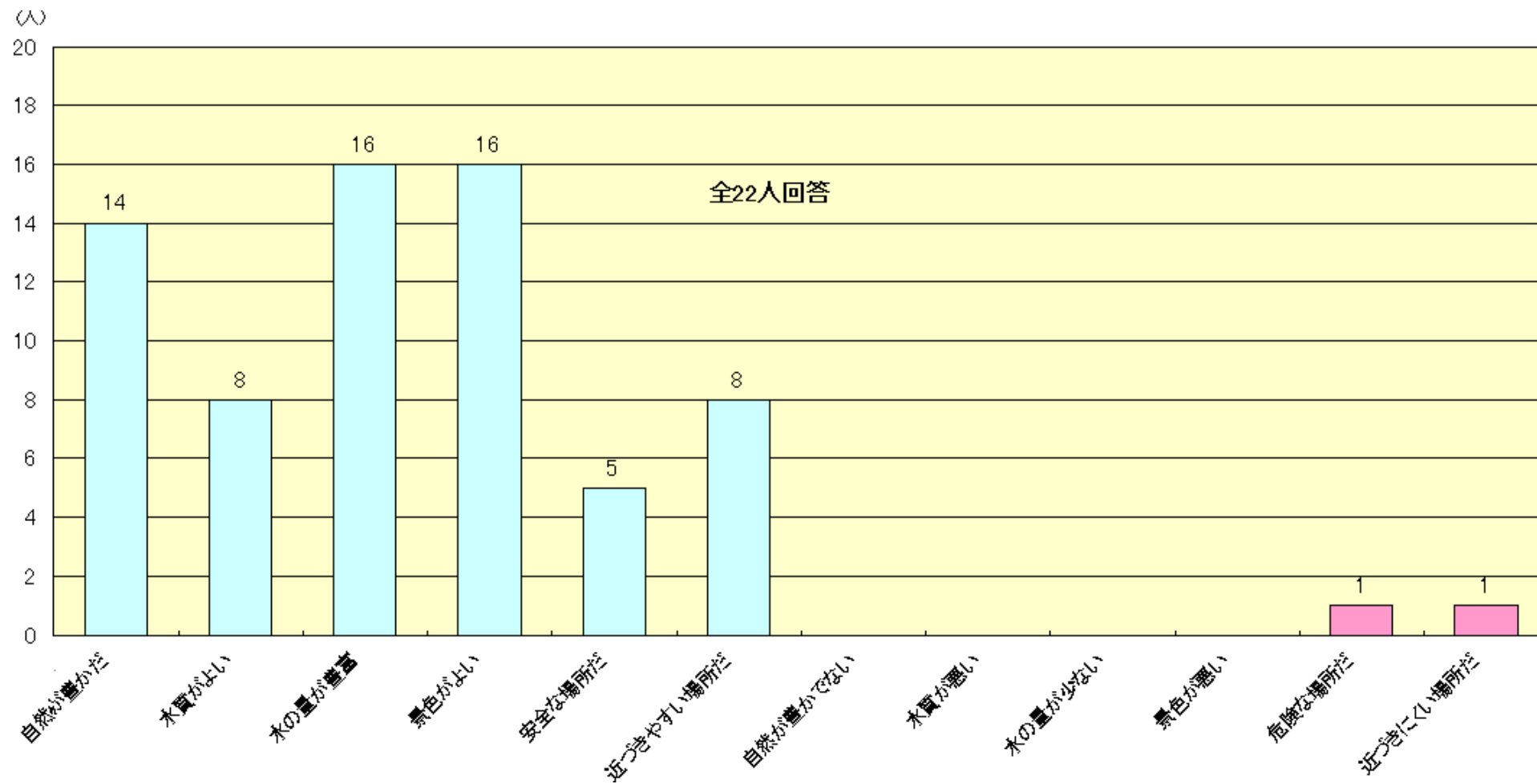
<「永田地区」を点検した感想>



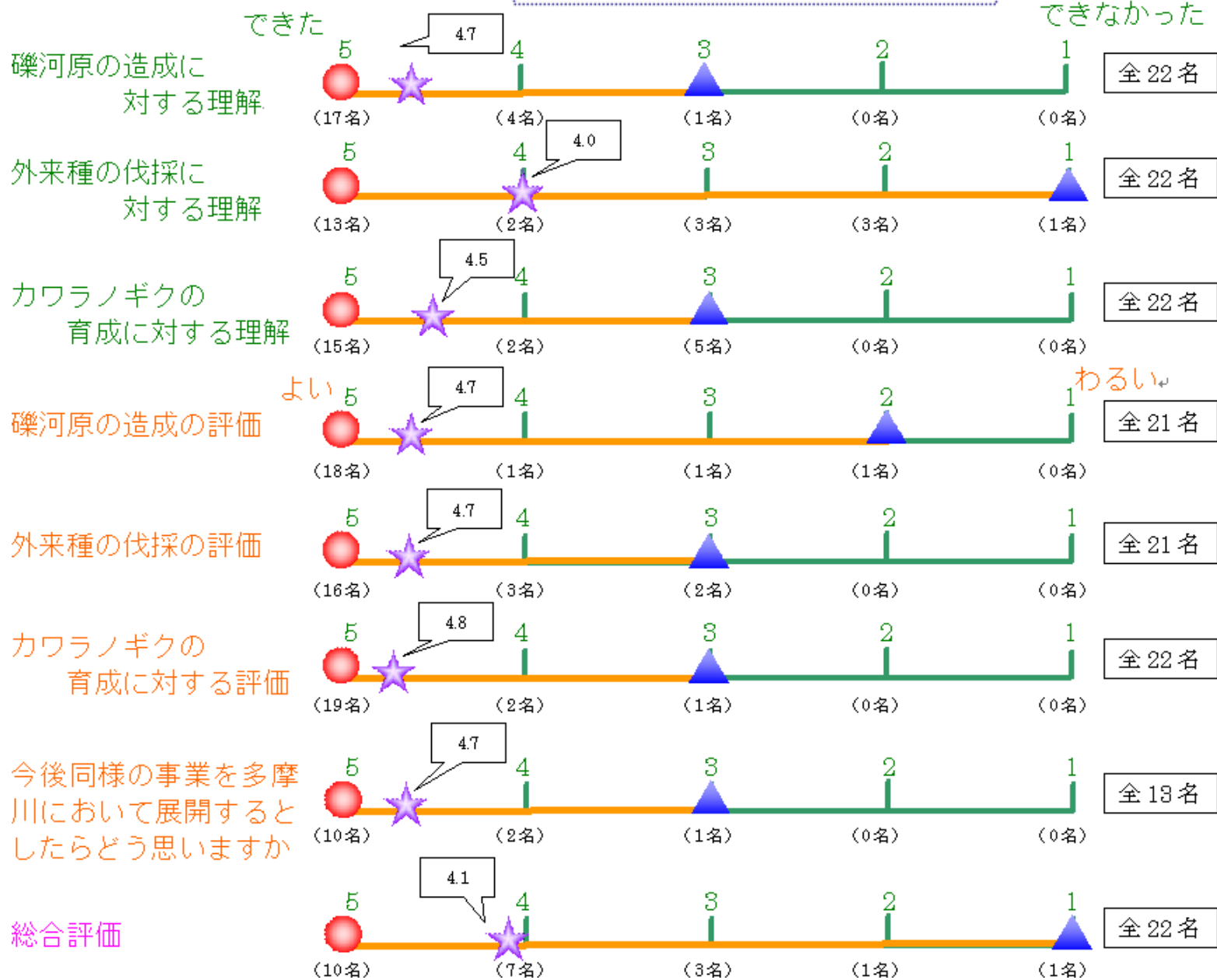
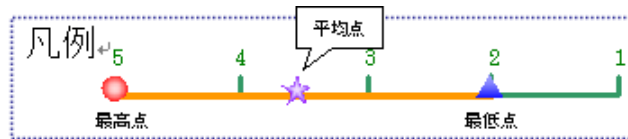
<「羽村取水堰下流部」を点検した感想>



<「羽村取水堰上流部」を点検した感想>



<「永田地区」の評価>



<「土砂供給箇所・魚道・羽村取水堰周辺」の評価>

